

ふくしま夢つうしん

2019 JANUARY

Fukushima YUME-tsushin

CONTENTS

特集

2 心をつなぎ街を彩る

つるし雛

ふくしまの魅力人

6 佐原わさび生産組合

佐藤栄一さん

インフォメーション

8 信夫三山暁まいり

もうすぐ!!

オリンピック・パラリンピック Vol.1



開催会場

心をつながぎ街を彩る つるし雛

冬真つ只中ですが、福島市飯野町では一足先に春を呼ぶ催事の準備に余念がありません。かつて絹織物で栄えた同町で始まった「飯野つるし雛まつり」は今年で12回目。来場者も年々増え人口約5,500人の町に、昨年は県内外から約3万人が訪れました。期間中は住民ボランティアが大活躍。町内を華やかに彩るつるし雛も、お休み処の運営も、交通整理もオール飯野でもってなします。今号の特集は、心がほっこりする飯野町の早春の風物詩をご紹介します。



1 住民手作りの1万点を超える色とりどりのつるし雛が町中心部の商店や飲食店、公共施設など40数カ所に飾られます。中には、子どもたちの作品も 2 第11回飯野つるし雛まつりフォトコンテスト最優秀賞の作品 3 つるし雛を作る団体サークル「和楽」の皆さん。定期的に集まり情報交換をしています 4 10周年を記念して行われた有志による七福神行列。要望に応じて今年復活する予定。期間中1日1回(午後1時頃)五寶銭を配りながらメインストリートを通り歩きます

子どもの健やかな成長と幸せを願う3世代で訪れる家族も
今ではすっかり早春の風物詩となった飯野つるし雛まつり。その魅力を齋藤さんは、「やはりたくさんさんの団体が関わっていることでしょう」と話します。つるし雛を作る団体は6団体あり、催事が終わるとすぐ次の年の準備を始めるのだそう。「年々、お客さんの目が肥えてくるのでいろいろと趣向を凝らしながら作っているようです」。期間中、町内に4カ所

設けている無料のお休み処では、婦人会や赤十字奉仕団、JA女性部、民話の会など多くのボランティア団体が奮闘。お茶の振る舞いや楽しい民話の時間を提供しています。無料で利用いただける駐車場の交通整理も、交通安全協会や交通安全母の会が協力してくださっています。大変な面もありますが、町全体の活気につながっています。また前回は、地元中学生が揃いのピンクの法被を着てガイドとして活躍。初々しいガイドがお客さんにとっても喜ばれたそうです。

「もう1つの魅力は、子どもの健やかな成長と幸せを願うまつりだということですね」。近年、子ども連れの若いご夫婦とご両親の3世代で訪れるシーンをよく見かけるようになったとのこと。懐かしさが漂うレトロな町並みをゆっくり歩きながら、愛らしい雛飾りを眺める時間は、世代を問わず気持ちを和ませてくれます。展示される雛飾りの中には、江戸時代の享保雛や8段にもなる豪華な段飾りもあるそうです。ぜひ、皆さんで出掛けられてはいかがでしょうか。



飯野つるし雛まつり
マスコットキャラクター
ひなぼん
町を元気に、みんなを元気にする不思議な力を持っている、つるし雛の妖精。頭の三角は飯野町のシンボル「千貫森」をイメージ。期間中、参加店舗には必ずひなぼんが飾られています。



2019年の千支「亥」のつるし雛



飯野つるし雛まつり
実行委員会 委員長
さいとう 齋藤 弘 さん
2016年から飯野つるし雛まつり実行委員会委員長を務める。第10回飯野つるし雛まつりでは、10周年記念として町内の小中学生を対象とするつるし雛まつりマスコットキャラクターの愛称を募集。また、七福神行列でメインストリートを通り歩いた。飯野町商工会会長。



「飯野つるし雛まつり」は、飯野町商工会女性部のもったいない運動の一環として作られたつるし雛がきっかけと言われています。タンスに眠っている着物や古布を再利用し、手芸愛好家の指導を受けて手作りしたつるし雛を商店街に飾ったのが始まりとのこと。
実行委員会委員長の齋藤弘さんは「飯野は、昔から生糸や絹織物が盛んでしたのでね。着物のリサイクル、文化の継承、町の活性化につながればという思いもあって続いてきました」と話します。東日本大震災以降は、スローガンに「つるし雛で心を繋ぎ元気発信」を掲げ、町内の仮設住宅で暮らす飯館村の皆さんのところに出前講座に出掛けるなどして作品を作り上げ、飾りと共に希望を紡いできました。

生糸や絹織物が盛んだった町で始まった手作りのまつり

第12回 飯野つるし雛まつり
とき/平成31年2月16日(土)～3月3日(日)
午前10時～午後4時
アクセス/車:福島駅より車で30分、バス:福島駅東口バス停より「飯野町」か「医大・立子山経由飯野町」行き「飯野町」下車
期間中、つるし雛体験教室やミニコンサート、民話茶話、いいの写友会写真展なども開催。
フォトコンテスト テーマ「早春の飯野」
開催期間中に飯野町内で撮影した写真のフォトコンテスト。
サイズ/四つ切、ワイド四つ切、A4 応募点数/1人2点まで
応募締切/平成31年3月20日(水) 当日消印有効
※詳しくはお問い合わせください。
飯野つるし雛まつり実行委員 ☎080-2830-6013
飯野町商工会 ☎024-562-2115 (土・日曜日は休み)

福島市からちょっと足を伸ばして...



入場無料

とき／平成31年2月9日(土)～3月31日(日)
午前8時30分～午後5時15分
ところ／ふるさとふれあいホール
(伊達市月館町月館字久保田5)
伊達市月館総合支所 ☎024-572-2111

伊達市 つるし雛展示

伊達市月館町在住の女性による団体「ほっこりフェ」の会員が中心となって制作したつるし雛を一堂に展示。期間中はつるし雛制作のワークショップも開催。ワークショップの日程はお問い合わせください。



無料

とき／平成31年2月2日(土)～3月31日(日)
午前10時～正午、午後1～3時(期間中随時受け付け可)
ところ・伊達市保原歴史文化資料館
(伊達市保原町大泉字宮脇265 保原総合公園内)
☎024-575-1615 伊達市保原歴史文化資料館

伊達市 ワークショップ「つるし雛づくり」

折り紙を使ったつるし雛作り体験。完成したつるし雛は、併設の旧岡家住宅(国指定重要文化財)に飾られます。詳しくは、伊達市ホームページをご覧ください。



入場無料

とき／平成31年3月9日(土)・10日(日)
午前10時～午後4時
ところ／大内家天明・天保蔵尚古館(二本松市竹田地内)
竹田共栄会婦人部(部長:松本悦子) ☎0243-22-5635

二本松市 竹田のつるし飾りの雛めぐり(特別展)

色鮮やかなつるし飾りとお雛様を展示。竹田の旧家に代々伝わるお雛様もこの期間のみ、お披露目。特別展の会場以外でも各商店に色とりどりのつるし飾りが飾られます。



入場無料

とき／平成31年2月18日(月)～3月19日(火)
午前10時～午後4時(毎週水曜はお休み)
ところ／国見町大木戸ふれあいセンター
(伊達郡国見町大字大木戸字新田原3)
国にみひなの会(会長:安田節子) ☎090-1374-5328

国見町 くにみつるし飾り展

さまざまなつるし雛のほか、パッチワークや和紙人形など多彩な作品が展示。毎年多くの人を魅了しています。



「春よ来い、早く来い」
ひと足早いつるし雛・つるし飾り」
とき／平成31年1月26日(土)～2月3日(日)
午前10時～午後4時
ところ／旧佐久間邸(福島市佐倉下字加藤7-6)
☎024-546-3948
つるし雛愛好家 須田美起子(携帯)
☎090-8615-4855



旧佐久間邸

入場無料



吾妻つるし雛愛好会会長 佐藤幸子さん

私たち吾妻つるし雛愛好会は、会員70人で4クラスに分かれ、つるし雛愛好家・須田美起子さんオリジナル作品を教わりながら制作しています。月1回1作品を制作し、和気あいあい楽しく活動しています。古民家・旧佐久間邸の雰囲気を楽しんだこだわりの展示は今回で8回目。古民家交流会の協力もいただきながら開催しています。ほっこりするつるし雛や雛飾りを見に、ぜひおいでください。

つるし雛めぐり

一針一針心を込めて作られたつるし雛。市内外で展示されているそれぞれの個性あふれるつるし雛をめぐって見てみませんか？



鶴

千年生きると伝えられる鶴は、長寿の祈りが込められています。



猪

2019年の干支「猪」は、多産で子孫繁栄につながる縁起の良い動物といわれています。



七宝輪

無限に連鎖する円満や財産の意味があり、「人との輪がうまくいくように」「お金に困ることがないように」と願いが込められています。



這い子人形

赤ちゃんがはいしている姿の人形。赤ちゃんが元気に、丈夫に育つようにという意味で作られています。



鳩

「平和の象徴」といわれる鳩は縁起の良い鳥。また、鳩は物をついばむときにむせないとされることにより、いっぱい食べて元気に成長するようにと願って飾られます。



唐辛子

昔、雛人形を虫から守るために唐辛子と一緒に保管していたことから「悪い虫がつかないように」という意味が込められています。



蟬

蟬の羽化が「古い習慣や形式を捨てて生まれ変わる」とされ「復活・再生」の象徴であり、長寿や健康を願って飾られています。



兎

兎の跳ねる様子から「飛躍」の願いや、赤い目に魔除けの意味があるといわれています。

つるし雛のいわれ

子どもの健やかな成長を願って作られるつるし雛。土地ごとに作られる対象や意味、いわれもさまざまです。込められた願いの一例を紹介します。



「つるし雛がざり」
とき／平成31年2月23日(土)～3月3日(日)
午前9時～午後9時
ところ・旧堀切邸
(福島市飯坂町字東滝ノ町16)
☎024-542-8188



旧堀切邸

入場無料



飯坂婦人会会長 村島勤子さん

展示するつるし雛は、私たち飯坂婦人会会員が、毎年干支を中心にテーマを決めて作っています。さまざまな雛飾りや、地元の小学生が作ったつるし雛も展示。期間中は物作り体験、コーラス発表や茶会なども開催し、飯坂の地域みんなで盛り上げます。おもてなしスペースも設けていますので、つるし雛を見た後はぜひお茶を飲んで一服していただください。



魅

力人

みりよくびと

Fukushima Sato

福島市佐原地区に明治時代から続く沢ワサビの栽培を受け継いでいこうと、2014年に地元有志で「佐原わさび生産組合」を立ち上げました。集まった面々は、ワサビ栽培について全員素人。しかし70歳超えの平均年齢をもとせず「清らかな水が育む地元の財産を守りたい」「地域を元気にしたい」と、旺盛なチャレンジ精神で突き進んでいます。組合長の佐藤栄一さんに、ワサビの魅力とこれからの展望を伺いました。



吾妻山麓から湧き出す清らかな水で育つワサビ
ツーンと鼻に抜ける辛みと豊かな香りが魅力です

酪農家、農林業経営者、元大手電気メーカーの営業マン、元エンジニアなど個性豊かなメンバーで結成した佐原わさび生産組合の皆さん。ワサビの産地である静岡や長野、岩手に視察に出掛けたり、ネットで調べたり、皆さん様に研究熱心。4年が経過した今でも毎日、新しい発見があるそうです。

佐原わさび生産組合長
佐藤 栄一 さん

1947年、福島市佐原に生まれる。JA勤務時代は、営農指導や金融関係を担当。退職後、福島市四季の里で農産加工の仕事に7年間従事。長くJAの役員をされていた自宅が近所の故佐藤二美さんからワサビ田を託され、仲間と共に佐原わさび生産組合を立ち上げ現在に至る。

佐原わさび生産組合
(販売問い合わせ先：ささき牧場カフェ)
福島市佐原字川久保15-1
☎024-573-7343



収穫したワサビに絡まった砂利や泥を沢の水で洗って葉を落とし、綺麗な状態に整える



明治時代から続く佐原地区の 沢ワサビを6人で継承

福島市佐原地区の沢ワサビ栽培の歴史は、明治時代にさかのぼります。もともとは自生していたとのこと。限られた条件の下でしか生育できない沢ワサビにとって、雪解け水や雨水が地下に浸透し、歳月をかけてミネラル豊富な伏流水となつて流れ出るだけでなく、杉林がほどよい日影を作る吾妻山麓の沢は、好環境だったようです。佐藤栄一さんも「年間を通して水量も一定していますし、水温も11〜13℃で、繊細な沢ワサビにはとてもいい場所」と話します。

大正時代、自家用だったものが販売用として栽培されるようになり、昭和60年初期には、篤農家の故佐藤二美さんがワサビ田を造成。先進地の技術を導入しながら栽培方法を確立。大正時代、自家用だったものが販売用として栽培されるようになり、昭和60年初期には、篤農家の故佐藤二美さんがワサビ田を造成。先進地の技術を導入しながら栽培方法を確立。大正時代、自家用だったものが販売用として栽培されるようになり、昭和60年初期には、篤農家の故佐藤二美さんがワサビ田を造成。先進地の技術を導入しながら栽培方法を確立。

とこでワサビは、沢で育てると沢ワサビになり、畑で育てると畑ワサビになります。6人で集まると、今後の地域の農業をどうしたらいいかという話にまで及ぶという皆さん。春に収穫できる花茎と春と秋に出回る葉と茎が食べられる畑ワサビを、佐原地区で加工品として製造・販売できるほど生産したいという夢も温めているとのこと。豊かな自然が育んだ、料理のおいしさを引き立てるワサビが佐原地区の特産になる日が待ち遠しいです。



吾妻山麓の豊かな自然と清らかな水が育む沢ワサビワサビの自然の辛みと香りをぜひ、堪能してください

第18回 インタビュー



20アールあるワサビ田では、1年を通して新鮮な湧き水がワサビの根に供給されます。ワサビは日陰を好むことから、冬期間以外は遮光ネットをかけています。主力品種は「達磨」。生産組合では6月に種子を採取し、9月にビニールハウス内に種子を蒔き成長させた苗を翌年3月に吾妻山麓のワサビ田に植え、1年半から2年育てて収穫しています

立すると、品質の高さが評判となり、そのほとんどを東京の築地市場に出荷していました。「引き継ぐことになったのは、二美さんが高齢になり、さまざまな事情が重なって継続が難しくなってきたからなんです」と佐藤さん。ワサビ田がある沢は、昔から地元の人たちが「湧き水」と呼んでいるところ。佐原地区を流れる鍛冶屋川の源流で、サンショウウオも生息するような自然豊かな場所です。「貴重なワサビ田と自然豊かな沢を残したいと思って。せっかかくやるんだったら地元の人でということ。地元有志6人で組合を作りました」。

吾妻山麓で育んだ ワサビで地域を活性化

2014年夏、いざワサビ田に出掛けてみると、3年ほど栽培を中断していたこともあり復元が大変でした。募ったボランティアたちと身の丈ほどもある草を刈り、管理機を使って砂利から苔をはがし、さらに高圧洗浄機で汚れを洗い流して畝立てをして苗を植える準備を進めました。自家採取した種子を蒔き、苗の準備をするも芽が出ないなど、苦労もありましたが誰も弱音を吐きませんでした。2015年、収穫が始まると販路も自分たちで開拓。地元の皆さ

ワサビレシビ

お飯のお供にも、酒の肴にもぴったり!

ワサビの三杯酢漬け

【材料】ワサビの茎や葉、塩、三杯酢(酢・砂糖・塩)
【作り方】
①食べやすい長さに切った茎や葉に塩・砂糖ひとつまみ振ってもむ。強くもんでワサビの繊維を壊し辛みを出す。
②しばらく置いた後、80℃で湯通しして、水洗い。
③水気を切って三杯酢に漬ける。2〜3日後に食べられる。

❄️冬のイベント情報

長さ12m、重さ約2tの日本一の大わらじを担いで市内を練り歩き、信夫山の羽黒神社に奉納します。また、奉納順路の地元小学生が、長さ2・5mの子どもわらじを担ぎ、暁まいりに参加します。大わらじと担ぎ手の威勢のいい掛け声で盛り上がる福島市の伝統行事に、足を運んではいかがでしょう？



信夫三山暁まいり

平成31年2月10日(日)・11日(月・祝)

大わらじ奉納・子どもわらじパレード

とき/2月10日(日)

【出発】午前9時：御山大わらじ作業所

【御山太々神楽 舞の奉納】午前11時20分頃：福島駅東口駅前広場

【奉納】午後3時頃：羽黒神社

※子どもわらじパレードは、一部区間で実施予定。

※信夫山の奉納順路周辺では交通規制を実施します。ご注意ください。

☎信夫三山奉賛会（商業労政課内） ☎024-525-3720



暁まいり福男福女競争

2019年の福男・福女を目指して信夫山を駆け抜けよう！

とき/2月10日(日) 午前11時30分 開会式（信夫山噴水公園） 正午 スタート

定員/600人(先着順) 参加費/無料

※詳しくはお問い合わせください。

☎福島青年会議所まつり伝承会員拡大委員会 ☎024-521-1635



もうすぐ!!

オリンピック・パラリンピック

Vol.1



野球・ソフトボール
開催!!

11月4日(日)に「オリンピックデー・フェスタin福島市」を開催しました。福島市体育館・武道場（NCVふくしまアリーナ）に、福島市出身の山下航平さん（陸上競技）をはじめ、大山加奈さん（バレーボール）ら7人のオリンピックが集まり、市内の小学生約120人と手つなぎ鬼や合唱などで交流しました。

「地元でこういう形で戻って来られてとてもうれしい。東京オリンピックに向けてがんばる姿を子どもたちに見てほしい」と山下さん。開会式まであと1年半！ますますの盛り上がりを見せる福島市を、今後夢通信でお知らせしていきます。

☎東京オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進室 ☎024-563-5660



市民フォト・ふくしま夢通信

平成31年1月1日発行

2019年1月号 No.36

編集発行 福島市役所 広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1

☎024-525-3710 ☎024-536-9828

E-mail: kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

夢通信
バックナンバーは
市ホームページで!



ふくしまチャンネル

fukushimacity

福島市



福島市内の
無料Wi-Fiは
こちら



📷表紙紹介

一針一針に願いを込めて

作られているのは2019年の干支「猪」です。同じ猪でも、端切れを使用しているため柄は全部違い、作り手の願いもさまざま。1つとして同じものはありません。